

小野寺(ブリッ)好調アピール

鈴木龍3位、樋口(ゼン)8位

自転車 JPT第14戦

×22周(55分)は21日、大田原市上石の野崎工業団地内特設コースで行われ、宇都宮ブリツェン・小野寺が1時間14分27秒で2連覇、鈴木龍が3位となった。



2連覇を果たし、ホースを決めてゴールする宇都宮ブリツェンの小野寺(手前) 大田原市の野崎工業団地内、三谷幸春撮影

×22周(55分)は21日、大田原市上石の野崎工業団地内特設コースで行われ、宇都宮ブリツェン・小野寺が1時間14分27秒で2連覇、鈴木龍が3位となった。

木龍らの好アシストを受け、最終コーナーからスプリントを開始。個人総合ランキング首位の鈴木龍(ブリッ)を振り切って先頭でフィニッシュした。那須ブラーゼンは樋口峻明の8位が最高位だった。JPT第15戦は22日午前11時50分から、矢板市JR片岡駅付近をスタート・ゴール地点に「やいた片岡ロードレース」(10・7×8周)85・6分で行う。

ブリッェン50勝目

チーム創設10年目に、節目の勝利を地元でさげ、宇都宮ブリッェンの、た岡鶴志をはじめ、集団内引、阿部にバトンタッチ。

圧勝プランきっちり

真つ白な歯を輝かせた。前同様、小野寺のプランを、鈴木、雨次、岡が集団先頭を維持しながらけん引、阿部にバトンタッチ。

▽P1 55分	①小野寺 1時間14分27秒	②鈴木龍 1時間14分30秒	③樋口峻明 1時間14分35秒
▽P2 55分	①小野寺 1時間14分27秒	②鈴木龍 1時間14分30秒	③樋口峻明 1時間14分35秒
▽P3 55分	①小野寺 1時間14分27秒	②鈴木龍 1時間14分30秒	③樋口峻明 1時間14分35秒
▽P4 55分	①小野寺 1時間14分27秒	②鈴木龍 1時間14分30秒	③樋口峻明 1時間14分35秒
▽P5 55分	①小野寺 1時間14分27秒	②鈴木龍 1時間14分30秒	③樋口峻明 1時間14分35秒

輝主将の表情がいつになく険しかった。樋口がスプリントの下島を引き連れるランだったが、終盤に下島が一時先行。再度、集団内で戦術の確認を兼ねながら、下島が後手に回った。最終、位置取りでリーダーシップをとれるメンバーが現れず、不完全燃焼でレースは終わった。

後まで位置取りでリーダーシップをとれるメンバーが現れず、不完全燃焼でレースは終わった。コンディションは悪くないが、連係が合わさらないのは致命的。「明日は全員がよかったです。走りをしたい」。下島主将は早期修正を誓った。

リントに向けて全員が仕事をできた。前回の石川ロードに続いて結果を出せたので、コンディションの良さを確認できた。ライファゲテンヒラス・伊藤杏葉、白川ラズで4位。「チームメートの林口(幸恵)さんが逃げに乗ってくれたので展開を見ながら走れた。最後のスプリントで先行を許し、もったいないことをした。明日に向けて切り替えたい」